

令和2年度 第3次湖西市男女共同参画推進計画進捗状況報告書

基本目標1 男女の人権の尊重

＜目標指標＞

指標	担当課	現状(平成27年度)	目標(平成32年度)	実績(令和2年度)
「男女共同参画社会」の言葉・考え方の認知度	市民課	69.4%	80.0%	72.6%

基本施策 男女共同参画と人権尊重の意識づくり

＜施策の方向＞

(1)人権尊重と男女共同参画社会に向けた広報・啓発活動の推進と学習機会の提供

事業・施策名	内容	担当課	実績	今後の展開・課題等
講演会や講座などの実施	企業・団体・市民・教育関係機関など広い範囲を対象に、男女共同参画や人権の尊重に関する講演会や講座などを実施します。	地域福祉課	湖西市人権擁護委員連絡協議会の事務局として、人権擁護委員の人権教室実施を支援した。 【人権教室】対象:市内の教育・保育機関に通う児童等。内容:紙芝居・DVD等の教材を用いた人権意識の啓発。開催回数:5回。	来年度以降も同様に活動予定。
		市民課	新型コロナウイルスの影響により人を集めての講座やイベントは実施できなかった。 代替事業として、広報こさい3月号に男性や子どもの家事参画を目的として簡単に作れる料理のレシピを掲載した。	開催方法にとらわれず、新型コロナウイルスの感染拡大状況に配慮した形で実施する。
広告媒体などによる広報・啓発	ウェブを用いた情報発信や報道機関への情報提供など、あらゆる世代に対して、様々な媒体や機会を通じた広報・啓発活動を行います。	地域福祉課	人権擁護委員の日、人権週間その他、新型コロナウイルス感染症に関する差別や誹謗中傷防止について、市広報紙で広報・啓発した。	来年度以降も同様に活動予定。
		市民課	年間を通してウェブサイト、SNS、広報こさい、市役所だより、モニター広告等により情報発信を行った。 パープルリボンプロジェクトの広報では、DV被害者に対する呼びかけだけでなく、加害者や周りの人がどのように支援する必要があるかを明記したパンフレットを市内公共施設及びスーパーに配架した。	今後もより身近に感じるような内容を取り上げ、視覚的にも訴えかける広報・啓発を継続する。

基本目標2 男女間のあらゆる暴力の根絶

<目標指標>

指標	担当課	現状(平成27年度)	目標(平成32年度)	実績(令和2年度)
ドメスティック・バイオレンスを受けたことがある人の割合	市民課	4.70%	半減(2.3%)	4.8%
セクシュアル・ハラスメントを受けたことがある人の割合	市民課	7.40%	半減(3.7%)	6.4%

基本施策 男女間のあらゆる暴力の根絶

<施策の方向>

(1)ドメスティック・バイオレンス、各種ハラスメントなどの防止に向けた広報・啓発

事業・施策名	内容	担当課	実績	今後の展開・課題等
DV、各種ハラスメントの防止の啓発、情報提供	パープルリボン・プロジェクトの実施や、モラル・ハラスメント、マタニティー(パタニティー)・ハラスメント、デートDVなど各種ハラスメントに対する正しい知識を市民が持つことができるよう啓発・情報提供を行います。 また、男性がDVや各種ハラスメントの防止活動に積極的に参加できるよう、啓発活動を行います。	市民課	11月にパープルリボンプロジェクトを実施し、公共施設やスーパーにて啓発物やチラシを600部配布した。 市役所正面玄関に懸垂幕を設置、市内各所にのぼり旗を設置、図書館に特設コーナーを設置することで月間の周知を行った。 また、リーフレットには、専門家監修のもと、被害者についてだけでなく、加害者の状態や周りができる支援などについても掲載した。 市公式インスタグラムにて、事業や言葉の説明、相談窓口に関する画像を10枚作成し、閲覧者に視覚的に訴えた。本文にはハッシュタグ(#湖西市、#11月、#DVなど)を掲載することで、市内外のターゲット世代へ周知を図ることができた。【再掲】	今後も多くの人へ認知してもらえるように内容を工夫して行う。

(2)相談体制の充実と関連機関との連携

事業・施策名	内容	担当課	実績	今後の展開・課題等
DV、各種ハラスメントに関する相談事業	DVや様々なハラスメント相談に対応できる相談窓口を設置し、相談しやすく、個人のプライバシーに配慮した相談事業を実施します。	市民課	女性相談を毎月第1～4木曜日(祝日を除く)を実施。年間43件の相談があった。問い合わせは43回あり、うち面談予約は、18件だった。DVIに関する相談は、6件だった。 新型コロナウイルスの影響下において、DVなどが起こりやすいとの情報から、SNSでは、内閣府等の相談機関も併せて紹介した。	今後も相談窓口の設置、相談体制の確保を継続しつつ、公共施設の女子トイレ内に連絡先の掲載されたカードを配架するほか、チラシの掲示・SNS広報により周知を行っていく。
		子育て支援課	【相談件数】 一般相談 8人 DV相談 24人	福祉事務所で行う相談として、利用者に寄り添う相談体制を整備する。
		長寿介護課	DVIに限らず高齢者の相談窓口として市及び包括支援センターで相談体制を整えている。 必要に応じ訪問等プライバシーに配慮した対応を実施。 【高齢者相談・新規相談件数】 1,180件/年	継続し実施
関係機関との連携による早期発見体制の整備	県の女性相談センターなど関係機関との連携体制を構築し、DVや各種ハラスメントを早期発見できる体制を整備します。	市民課	女性相談において、情報提供を可としたクライアントについては、庁内関係各課へ情報提供をしながら適切な支援ができるよう取り組んだ。関係課への情報提供は5件。市の法律相談を紹介した件数は4件。	今後もクライアントが抱える問題の解決を後押しできるよう、必要な支援について理解を深め、相談員にも周知する。
		子育て支援課	【相談件数】 一般相談 8人 DV相談 24人	福祉事務所で行う相談として、利用者に寄り添う相談体制を整備する。
		長寿介護課	DVやハラスメントに限らず高齢者の相談窓口として市及び包括支援センターで相談体制を整えている。 内容に応じ各種専門相談センター等と連携している。 【高齢者相談・新規相談件数】 1,180件/年	継続し実施

基本目標3 制度及び慣行への配慮

<目標指標>

指標	担当課	現状(平成27年度)	目標(平成32年度)	実績(令和2年度)
「男は仕事、女は家庭」との男女の固定的な役割分担に同感しない人の割合	市民課	41.7%	50.0%	46.7%

基本施策 男女共同参画の視点に立った制度や慣行の見直し

<施策の方向>

(1)男女共同参画に関する情報収集・提供の推進

事業・施策名	内容	担当課	実績	今後の展開・課題等
市政情報の収集と提供	市政における男女共同参画に関する情報を関係各課と連携することで収集し、市内公共施設などへのチラシ、パンフレット配布を通じて、市民へ情報提供します。	市民課	産業振興課と連携するなどして男女共同参画や女性活躍に関するチラシやイベント告知チラシを市民課へ配架し、周知した。	今後も引き続き産業振興課と連携してイベント等の周知を図っていく。
市外情報の収集と提供	国・県、先進事例を持つ自治体の情報を収集し、市役所だよりなどを通じて、市民へ情報提供します。	市民課	男女共同参画に関するチラシの配架、ポスターの掲示を行った。また、内閣府実施事業の「DV相談+」をSNSで周知した。	今後も時代の流れを汲んだ内容で周知を継続する。

(2)男女共同参画に関する調査・研究と推進

事業・施策名	内容	担当課	実績	今後の展開・課題等
意識調査の実施	市民の男女共同参画に対する認知度や理解度、ニーズを把握するために、意識調査を行います。	市民課	第4次男女共同参画推進計画を策定するにあたり、市内在住の18歳以上の男女に向けて意識調査を行った。有効回収数は670人、有効回収率は44.7%だった。	引き続き調査を行う中で市民の考えを把握していく。
先進事例の研究	男女共同参画に関する先進的な事例の情報を収集し、市政への反映を検討します。	市民課	静岡県主催の男女共同参画研修会において、性的マイノリティに関する研修を受講した。また、男性相談に関する研修を受けることで、男性が抱える問題について理解を深めた。	今後も研修会などを通して広い知見を持ち、必要な部署・機関と共有する。

(3)家庭・職場・地域・教育などの場面での制度や慣行の見直し

事業・施策名	内容	担当課	実績	今後の展開・課題等
講習会や講座などによる意識づくり	市民があらゆる場面での男女共同参画に対する意識を持てるよう、男女共同参画週間での講演会の実施や定期的なセミナーを開催します。	市民課	新型コロナウイルスの影響により、対面での講座実施は行わなかった。広報こさい3月号に父子料理教室の代替事業としてレシピ掲載に加え、男性が家事参画する必要性を呼びかけた。	オンラインを含めた多様な手法で男女共同参画の講座や情報発信を行っていく。
男女共同参画の視点に立った教育の推進	男女平等や性に対する意識の教育など、男女共同参画の視点に立った教育をライフステージに合わせて実施します。	学校教育課	人権擁護委員による人権教室を各校で実施し、自他の大切さについて考える機会を設けた。日頃からジェンダーにもとづく偏見や不平等がなくなるように意識して教師が子どもに関わっている。学校生活の中では、男女平等が浸透している。	今度とも各校で取り組みを継続していく。
		幼児教育課	人権擁護委員による人権教室を年1回、市内全公立幼稚園・保育園・こども園の一部(2園)及び私立保育園・こども園の一部(1園)において、園児・保護者を対象として開催した。106人の参加があり、「思いやりの心をもつ」「言葉の大切さ」「命を大切にすること」を紙芝居等で知らせた。	今後も継続し、未実施の私立保育園やこども園へも人権教育等の参加を依頼し、意識の啓蒙に努める。
		地域福祉課	湖西市人権擁護委員連絡協議会の事務局として、人権擁護委員の人権教室実施を支援した。 【人権教室】対象:市内の教育・保育機関に通う児童等。内容:紙芝居・DVD等の教材を用いた人権意識の啓発。開催回数:5回。(再掲)	来年度以降も同様に活動予定
		市民課	パープルリボン・プロジェクト実施時に、性暴力をテーマとした女性に対する暴力をなくす運動の周知を行った。また、リーフレットにて、性暴力を含めたDVやデートDVIについて言及した。	性暴力に関する広報に注力する。

基本目標4 男女が対等に参画する機会の確保

<目標指標>

指標	担当課	現状(平成27年度)	目標(平成32年度)	実績(令和2年度)
審議会などの女性委員の割合	市民課	33.8%	40.0%	32.6%
行政に女性の意見が反映されていると思う人の割合	市民課	23.0%	30.0%	27.6%
自主防災会の役員に女性がいる地区	危機管理課	2/60地区	10/60地区	2/60地区

基本施策1 政策・方針決定の場へ女性の参画促進

<施策の方向>

(1) 審議会・委員会などへの女性の参画推進

事業・施策名	内容	担当課	実績	今後の展開・課題等
市の審議会などへの女性の積極的な登用	各種審議会などに女性が登用されるよう各課に依頼を行うなど、各種審議会などに女性が登用される環境を整備します。また、各種審議会などへの女性の積極的な登用に全課で取り組みます	市民課	庁内に向けて積極的な女性委員の登用を依頼した。 庁内の女性委員の登用について相談対応した。	宛て職や、専門家を召集する委員会の場合、女性委員の確保が難しいことが課題。 今後も選定の方法などを各課へ紹介していく。
		企画政策課	委員を選任するにあたり、女性を積極的に登用した。(湖西市総合計画審議会委員、未来ビジョン会議委員) ※委員は令和元年度から委嘱	女性の意見を計画や施策に反映させていきたいことから、今後も積極的に女性の委員を選任していく。
		都市計画課	都市計画審議会にて2名、立地適正化推進協議会にて2名、新居関所周辺地区景観審議会にて1名、女性委員を登用している。	今後も女性委員の登用に努めていく。
		建築住宅課	委員を選出するにあたり、女性を積極的に登用している。 令和2年度の女性の登用数に変化なし。	今後も女性の登用を積極的に行う予定である。
		環境課	環境審議会の委員の数7名中1名の登用。	今後も女性委員の登用に努めていく。
		水道課	湖西市水道事業経営方針検討会(委員5名)の委員に女性1名を登用。	R元・2年度の2か年の検討会
		廃棄物対策課	湖西市ごみ減量市民会議 ⇒ 委員10名中、女性3名	今後も女性委員の登用に努めていく。
		図書館	女性目線による意見を図書館運営に取り入れるため、図書館運営協議会委員に女性を登用。任期は令和元年度から令和3年度までの2年間。	今後も女性委員の登用に努めていく。

(2) 事業所や各種団体などにおける女性の登用促進

事業・施策名	内容	担当課	実績	今後の展開・課題等
各種団体などにおける女性の雇用促進	女性雇用に対する意識啓発のために、企業や市民団体を対象に出前講座を実施します。	市民課	実績なし。	新型コロナウイルスの流行状況により開催できるかを判断する。

(3) 女性の人材育成の支援

事業・施策名	内容	担当課	実績	今後の展開・課題等
人材発掘・育成のための学習機会・情報提供	静岡県主催の人材育成講座に受講生を派遣するなど、女性の人材育成に関して学ぶ場を提供します。	市民課	H29年度より県の女性政策塾が廃止されたため、派遣実績はなし。 人材育成に関する講座があった場合は、関係課へ情報提供するほか、チラシを配架している。	何らかの人材育成講座への参加を促す方は課題である。

基本施策2 地域活動への男女共同参画の促進

(1) 地域活動への参加促進

事業・施策名	内容	担当課	実績	今後の展開・課題等
地域の担い手育成	男女共同参画に関する情報を地域活動団体に提供したり、男女共同参画に関する各種講座を実施したりすることで、地域活動の担い手を育成します。	市民課	男女共同参画推進員の活動は、新型コロナウイルスの影響により実施できなかった。 湖西市民活動センターへも男女共同参画に関するイベントのチラシは配架しており、興味のある人が手に取りやすくしている。 H30年度から自治会に女性役員を登用することで交付金の加算を実施した(自治会長10万円、副自治会長・会計は5万円)。結果、3自治会で副自治会長に女性が登用された。	地域で活動する団体や担い手の育成は課題である。自治会においても女性を登用するよう働きかけていく。

(2) 地域活動団体などとの連携の推進

事業・施策名	内容	担当課	実績	今後の展開・課題等
地域活動団体などへの支援	助成や情報提供により、地域活動団体などを支援します。	市民課	令和元年度より市民活動団体への委託を終了したため、市としての直接的な補助等の実績はなし。 一方で男女共同参画に取り組む市民活動団体が支援を受けられるよう、市民活動センター事務局へ県等の補助事業の募集案内を配架した。	男女共同参画に取り組む団体が少なくなる中で、新しい方法を模索する必要がある。
地域活動団体などとの連携	市民活動センターを拠点として、相談体制の整備や情報交換を行い、地域活動団体などとの連携体制を整備します。	市民課	市民活動センターへ男女共同参画に関するチラシや情報誌を配架した。【再掲】	市民活動団体が男女共同参画に興味を持てるよう、情報提供していく。

基本施策3 男女共同参画の視点を意識した防災の促進

(1) 男女双方の視点を取り入れた防災体制の実施

事業・施策名	内容	担当課	実績	今後の展開・課題等
セミナーや研修による啓発	男女共同参画の視点を取り入れた防災に関するセミナーや研修を実施します。	市民課	新型コロナウイルスの影響により実績なし。	新型コロナウイルスの流行状況により開催できるかを判断する。
		危機管理課	女性防災講座を年3回予定していたが、新型コロナウイルス感染防止のため全て中止とした。	新型コロナウイルスの流行状況により開催できるかを判断する。
地域における防災活動への女性参画の促進	地域の防災活動に女性が参画できる機会を得られるよう、自主防災会などに啓発活動を行います。	市民課	新型コロナウイルスの影響により実績なし。	新型コロナウイルスの流行状況により開催できるかを判断する。
		危機管理課	女性防災講座を年3回予定していたが、新型コロナウイルス感染防止のため全て中止とした。	新型コロナウイルスの流行状況により開催できるかを判断する。
防災に関する意思決定機会への女性参画の促進	市の防災担当部署における女性の登用や、防災会議など防災における重要な意思決定の場への女性登用を推進します。	市民課	今年度においては防災会議への紹介実績なし。	委員の選任では情報共有を密に行う。
		危機管理課	防災会議委員21名のうち、女性委員2名に対し委嘱している。 赤十字奉仕団、子ども会連合会の会長・委員長を委嘱しており、災害時における女性等要配慮者の視点を持った識者の意見をいただける体制を整えている。	引き続き女性の意見を取り入れる体制を整える。

基本目標5 家庭生活と社会生活の両立

<目標指標>

指標		担当課	現状(平成27年度)	目標(平成32年度)	実績(令和2年度)
男女共同参画社会づくり宣言事業所数		市民課	17事業所 (26年度)	25事業所	41事業所
家庭生活において男性優遇と感じる人の割合		市民課	46.2%	40.0%以下	55.3%
育児休業・介護休業を取得しやすいと答えた割合	育児休業	市民課	16.8%	25.0%	26.7%
	介護休業		13.2%	20.0%	23.1%

基本施策1 仕事と生活の調和の実現のための支援

<施策の方向>

(1) ワークライフバランスの意識啓発

事業・施策名	内容	担当課	実績	今後の展開・課題等
ワーク・ライフ・バランスの広報・啓発	広報誌や中小企業対象のメールマガジンなどを通じて、広報・啓発を行います。また、広報・啓発においては、必要性・有効性を広報・啓発するだけでなく、ワーク・ライフ・バランスのロールモデルなど、実効性のある情報を発信していきます。	産業振興課	働き方改革関連法について、メルマガで広報。時間単位の年次有給休暇制度の導入について、市ウェブサイトに掲載。厚生労働省の両立支援総合サイトを市ウェブサイトに掲載。	広報・啓発を継続する。
		市民課	広報こさい8月号において、男女共同参画コラムを掲載した。新型コロナウイルスの影響下における新たな働き方について紹介し、家庭の性別役割分担意識を変えていかなければならないことを呼びかけた。	引き続き時流に沿った内容で掲載をしていく。

(2) 家事・育児・介護への共同参画の推進

事業・施策名	内容	担当課	実績	今後の展開・課題等
男性の家庭生活などへの参画を促す広報・啓発	男性の家庭生活や育児、介護などへの参画を重視した広報・啓発を行います。	市民課	広報こさい8月号において、男女共同参画コラムを掲載した。新型コロナウイルスの影響下における新たな働き方について紹介し、家庭の性別役割分担意識を変えていかなければならないことを呼びかけた。【再掲】	引き続き時流に沿った内容で掲載をしていく。
男性を対象とした家事講座などの実施	男性が家事・育児に参画できるように、男性を対象とした料理教室などを実施します。	市民課	新型コロナウイルスの影響により、対面での講座実施は行わなかった。広報こさい3月号に父子料理教室の代替事業としてレシピ掲載に加え、男性が家事参画する必要性を呼びかけた。	オンラインなど多様な手法で男女共同参画の講座や情報発信を行っていく。
		健康増進課	老人クラブから依頼があり出前講座にて「生活習慣病予防教室(高血圧編)」の中で男性に料理講習を実施。13名の参加があった。	老年期だけでなく、壮年期への働きかけも検討する。
男性の育児力向上と子育て意識の醸成	家庭教育サポート講座の実施や男性が参加しやすい育児(子育て)に関するイベントの広報・実施により育児力の向上と子育て意識の醸成を図ります。	子育て支援課	【児童扶養手当】 280人 131,357,430円 【母子家庭等医療費助成制度】 160世帯 5,833,271円 【村田光雄奨学金】 34世帯 36人 1,745,000円 【湖西市交通遺児等福祉手当】 2世帯 240,000円	現状維持
		社会教育課	コロナ感染対策によりすべての事業が実施できなかった。	引き続き父親参加を促進する内容で開催していく。
男性の介護に関する意識の醸成	男性が介護に参画している事例の情報発信などを通じて、男性の介護に参画する意識を醸成していきます。	市民課	実績なし	今後も情報発信を続けていく。
		長寿介護課	家族介護者教室開催 認知症介護の体験談と専門職の視点からの関わりについて 【実施日】2月26日 【参加者数】22人 【場所】健康福祉センター	

基本施策2 働く場における男女共同参画の促進

(1) 男女の多様な働き方を可能にする環境の整備

事業・施策名	内容	担当課	実績	今後の展開・課題等
育児・介護休業制度の広報・啓発	厚生労働省の両立支援助成金の事業所への周知などを通じて、育児・介護休業制度の広報・啓発活動を行います。	産業振興課	改正育児・介護休業法施行規則等の施行について、企業向けメールマガジンで広報。	広報・啓発を継続する。
事業所内保育施設設置の促進	事業所内保育施設運営事業費補助を行うなど、事業所内保育施設の設置を促進します。	産業振興課	湖西市事業所内保育施設運営事業費補助金を1事業所に交付。	国の助成制度との併用が不可能となったため、市の補助制度は新規受付を停止。事業所から相談があった場合には、幼児教育課と連携し、国制度の紹介等の対応をする。
市役所内における男女共同参画の職場づくり	女性職員の積極的登用や性差別のない人事配置、女性職員のスキルアップ研修の実施などにより、市役所内における男女共同参画の職場づくりを推進します。	総務課	一般事務職等の職員採用者14人のうち、女性7人を採用した。女性職員の登用について、新たに3人を係長級に登用した。また、係長級の女性職員1人について、課長代理級に昇格した。	今後も性別に捉われない採用・登用を行っていく。また、研修等を通じて、職場内での意識づくりを行っていく。
女性の多様な働き方に関する支援	起業や資格取得に関する情報提供やセミナーなどを実施することで、女性の多様な働き方を支援していきます。	産業振興課	女性のための起業講座(1回)を開催。女性の再就職を支援するため、セミナー(8回)・企業面接会(1回)を開催。	女性の再就職支援事業を継続する。
		市民課	女性活躍に関するチラシの配架を行った。	今後も引き続き情報発信を行う。

(2) 男女の均等な待遇確保の促進と啓発

事業・施策名	内容	担当課	実績	今後の展開・課題等
「男女共同参画社会づくり宣言事業所」の普及促進	県との連携や、男女共同参画社会づくり宣言事業所に対する建設工事に係る入札制度における優遇措置などを周知することで、「男女共同参画社会づくり宣言事業所」の普及促進を行います。	市民課	男女共同参画社会づくり宣言事業所の事業所名及び登録のメリットについてウェブサイトでご紹介した。	引き続き実施する。
		契約検査室	建設工事競争入札参加者の格付基準に基づき、男女共同参画社会づくり宣言事業所の登録事業者に対する加点優遇措置を実施している。(平成27年6月から)	現在の加点優遇措置を継続していく予定である。
		産業振興課	ダイバーシティ・マネジメント推進事業を利用した企業に制度を周知。	当課の事業を活用し、普及促進を継続する。
農林水産業など自営業に従事する女性の労働条件・労働環境の整備	家族経営協定推進会議の開催などにより、新規協定締結を促進することで、労働条件・労働環境の整備を行います。	産業振興課	2家族6人が新規で家族経営協定を締結した。また、3家族が締結内容の見直しを行い、内容を更新した。	家族経営であっても、ライフワークの境をはっきりさせるために、就業条件や家庭内のルールを見直す機会となるので、今後も新規締結や内容の見直しを促進する。
男女の均等な雇用機会と待遇確保の広報・啓発	男女雇用機会均等月間に合わせた市広報誌及び中小企業対象のメールマガジンにより、広報・啓発活動を実施します。	産業振興課	男女雇用機会均等月間の報道発表なし。企業の女性社員向けセミナーを開催。アドバイザーを2社に派遣。「えるぼし・くるみん」について、市ウェブサイトに掲載。	アドバイザー派遣制度や広報を継続して実施。

(3) ひとり親家庭などへの自立支援

事業・施策名	内容	担当課	実績	今後の展開・課題等
ひとり親家庭への生活支援の充実	生活の自立を図るために、各種手当の支給や助成を、ひとり親家庭を対象に行います。また、就職に有利な技能資格の取得に関する情報や、ひとり親家庭への支援を行う団体の情報などを提供することで、ひとり親家庭への生活支援を充実していきます。	子育て支援課	【児童扶養手当】 280人 131,357,430円 【母子家庭等医療費助成制度】 160世帯 5,833,271円 【村田光雄奨学金】 34世帯 36人 1,745,000円 【湖西市交通遺児等福祉手当】 2世帯 240,000円	現状維持

基本目標6 男女の生涯にわたる心身の健康への配慮

<目標指標>

指標		担当課	現状(平成27年度)	目標(平成32年度)	実績(令和2年度)
男女特有のがん検診受診率	乳がん (40～69歳)	健康増進課	60.7% (26年度)	65.0%	—
	子宮頸がん (20～69歳)		50.6% (26年度)	55.0%	—
	前立腺がん (50～69歳)		28.7% (26年度)	35.0%	—
性と生殖に関する健康・権利(リプロダクティブ・ヘルス/ライツ)の考え方の認知度		市民課	—	50.0%	9.6%

基本施策 生涯にわたる男女の心身の健康支援

<施策の方向>

(1)生涯にわたる心身の健康の保持、増進のための支援

事業・施策名	内容	担当課	実績	今後の展開・課題等
性の理解と尊重に向けた意識啓発	広報誌などを通じた情報提供や啓発により、性と生殖に関する健康・権利(リプロダクティブ・ヘルス/ライツ)に対する理解に向けた意識啓発を行います。	子育て支援課	母子手帳交付時および赤ちゃん訪問にて啓発活動を実施。	現在の実施内容の他、父親への啓発機会を増やしていく。
		市民課	LGBTIに関する男女共同参画コラムを広報こさい2月号に掲載した。 リプロダクティブ・ヘルス/ライツのコラムは、掲載スケジュールがずれ込み、令和3年6月号掲載予定。	引き続きリプロダクティブ・ヘルス/ライツを周知していく。
健康に対する意識啓発	各種健康教室の実施や相談体制の整備により、健康に対する意識啓発を行います。	健康増進課	生活習慣病予防教室を毎回疾患と運動を組み合わせで計画し、実施。出前講座に健康をテーマにしたメニューを取り入れた。また、定例、及び随時健康相談を実施時し、健康意識の啓発をした。	今後も継続して健康教育・健康相談を実施していきます。
心身と性に対する相談体制の整備	心身の悩みに対して相談しやすい環境や性に対する相談体制を整備します。また、研修を通して職員の意識や理解を深めます。	総務課	総務課及び女性職員によるハラスメント相談窓口、ハラスメント苦情処理委員会を設置している。	相談窓口を周知し、相談しやすい環境を充実させていく。
		市民課	女性相談事業を実施。年間相談件数は43件。【再掲】また、広報こさい偶数月号に、女性相談員によるコラムの掲載を行った。	今後も継続する。 ポスター等を掲示して周知を拡大する。

(2)母性保護・母子保健の充実

事業・施策名	内容	担当課	実績	今後の展開・課題等
妊娠・出産に対する正しい知識の普及・啓発	妊婦講座などへの父親の参加促進や、妊娠・出産に対する正しい知識を発信していきます。	子育て支援課	定例・随時健康相談を実施することで健康意識の啓発を行った。	今後も引き続き健康相談等を実施していく。
		市民課	LGBTIに関する男女共同参画コラムを広報こさい2月号に掲載した。 リプロダクティブ・ヘルス/ライツのコラムは、掲載スケジュールがずれ込み、令和3年6月号掲載予定。	引き続きリプロダクティブ・ヘルス/ライツを周知していく。
不妊治療に対する支援	不妊治療に対する経済的支援を行います。	子育て支援課	特定不妊治療費助成 延28組 一般不妊治療費助成 延10組	今後も事業継続。

基本目標7: 国際視点に立った男女共同参画

<目標指標>

指標	担当課	現状(平成27年度)	目標(平成32年度)	実績(令和2年度)
男女共同参画に関する在住外国人の相談件数	市民課	5件(26年度)	10件	1件
男女共同参画に関する国際的な取組事例や情報の提供回数	市民課	-	4回	4回

基本施策: 国際社会の動きに沿った男女共同参画の推進

<施策の方向>

(1) 多文化共生の視点に立った男女共同参画事業の推進

事業・施策名	内容	担当課	実績	今後の展開・課題等
各種相談体制の整備	在住外国人も男女共同参画に関する相談ができるよう、多言語に対応した相談窓口を整備します。	市民課	通訳担当と連携して相談時に通訳を派遣できるようにしている。 女性相談チラシをポルトガル語・スペイン語に翻訳し、通訳窓口に配架した。 1件相談があった。	引き続き周知のほか、通訳との連携を行う。 女性相談員は日本人のため、初めの意思疎通を上手く取れるよう環境整備が必要である。
在住外国人向けの情報発信	市民向けに発信する情報を複数の言語に翻訳することにより、在住外国人への情報発信を行います。	市民課	毎月外国人向け行政情報誌「Informativo」へ女性相談の案内を掲載している。 女性相談チラシをポルトガル語・スペイン語に翻訳し、通訳窓口に配架した。【再掲】	引き続き在住外国人が情報を得やすいよう取り組みを続ける。

(2) 国際社会の動向の把握と情報発信

事業・施策名	内容	担当課	実績	今後の展開・課題等
国際社会の情報の収集と発信	国連婦人の地位委員会に関する情報など、国際社会における男女共同参画に関する情報を収集し、情報発信します。	市民課	モニター広告においてジェンダーギャップ指数について広報した。 広報こさい令和3年4月号において「国際女性デー」を紹介する男女共同参画コラムを掲載した。 年2回図書館にて男女共同参画に関する図書コーナーを特設し、海外の情報についても紹介した。	引き続き海外の男女共同参画に関する状況を紹介していく。

目標指標の経年比較表(平成27～令和2年度)

基本 目標	指標		担当課	現状 (H27年度)	実績 (H28年度)	実績 (H29年度)	実績 (H30年度)	実績 (R1年度)	実績 (R2年度)	目標 (H32年度)
1	「男女共同参画社会」の言葉・考え方の認知度		市民課	69.4%	-	—	—	78.2%	72.6%	80.0%
2	ドメスティック・バイオレンスを受けたことがある人の割合		市民課	4.7%	-	—	—	—	4.8%	半減 (2.3%)
	セクシュアル・ハラスメントを受けたことがある人の割合		市民課	7.4%	-	—	—	—	6.4%	半減 (3.7%)
3	「男は仕事、女は家庭」との男女の固定的な役割分担に同感しない人の割合		市民課	41.7%	59.0%※	0	48.6%	53.2%	46.7%	50.0%
4	審議会などの女性委員の割合		市民課	33.8%	32.6%	0	30.7%	34.0%	32.6%	40.0%
	行政に女性の意見が反映されていると思う人の割合		市民課	23.0%	24.8%	—	—	—	27.60%	30.0%
	自主防災会の役員に女性がいる地区		危機管理課	2/60地区	2/60地区	4/60地区	4/60地区	3/60地区	2/60地区	10/60地区
5	男女共同参画社会づくり宣言事業所数		市民課	17事業所 (26年度)	33事業所	39事業所	39事業所	40事業所	41事業所	25事業所
	家庭生活において男性優遇と感じる人の割合		市民課	46.2%	45.0%	52.1%	—	—	55.3%	40.0% 以下
	育児休業・介護休業を取得しやすいと答えた割合	育児休業	市民課	16.8%	-	—	29.6%	—	26.7%	25.0%
介護休業		13.2%		-	—	27.6%	—	23.1%	20.0%	
6	男女特有のがん検診受診率	乳がん (40～69歳)	健康増進課	60.7% (26年度)	63.7%	66.4%	52.9%	—	-	65.0%
		子宮頸がん (20～69歳)		50.6% (26年度)	55.5%	57.2%	46.8%	—	-	55.0%
		前立腺がん (50～69歳)		28.7% (26年度)	31.3%	32.0%	27.7%	—	-	35.0%
	性と生殖に関する健康・権利(リプロダクティブ・ヘルス/ライツ)の考え方の認知度		市民課	-	-	23.0%	—	—	9.6%	50.0%
7	男女共同参画に関する在住外国人の相談件数		市民課	5件 (26年度)	1件	0件	0件	0件	1件	10件
	男女共同参画に関する国際的な取組事例や情報の提供回数		市民課	-	1回	2回	4回	5回	4回	4回

※この年のみ「同感しない」「どちらかといえば同感しない」を合計した数値。「同感しない」は33.0%。